



学校だより

令和8年度 第6号

令和8年9月25日 横浜市立いずみ野中学校 校長 谷澤 直人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/izumino/>

図書委員会 夏休み おはなし会



「私たち図書委員会は、7月28日、泉図書館にて、子どもや保護者の方々を対象とした読み聞かせのおはなし会を開催しました。準備段階では、どのようなおはなしの読み方をすれば、より子どもたちが楽しめるのかを考えながら、声の抑揚や言葉の間隔を変えたり、色々な読み方の工夫を重ねました。本番では、目を輝かせて耳を傾けてくれる子どもたちの姿や、温かい笑顔で見守ってくださる保護者の方々、図書館の職員の皆様の反応を肌で感じ、本がもつ「人と人を繋ぐ力」を実感することができました。

委員長として全体をまとめる難しさもありましたが、他の委員の人たちが積極的に活動してくれたことで、練習などもスムーズに進めることができました。地域の方々と本を通じて得たこの経験は、私たちにとって大きな成長の機会となりました。この経験を今後の活動に生かし、校内でもより本に親しめる環境づくりに努めていきたいです。」 図書委員会 委員長 作元あすかさん



吹奏楽部 横浜隼人中学・高等学校吹奏楽部と“コラボレーション”

8月26日(水)、海老名市文化会館で、「横浜隼人中学・高等学校吹奏楽部&横浜市立いずみ野中学校吹奏楽部コラボレーション2026」が行われました。

コラボレーションとは

横浜隼人中学・高等学校吹奏楽部&横浜市立いずみ野中学校吹奏楽部コラボレーション2026パンフレットより

現在、吹奏楽部を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。少子化に伴う部員数の減少や物価高騰による活動費の負担増は、生徒たちの音楽活動に大きな影を落としています。コラボレーションは、こうした状況下にある中学校吹奏楽部をお手伝いするために立ち上げた演奏会支援プロジェクトです。本プロジェクトを通して演奏会の機会を提供するとともに、地域社会における音楽文化の維持・発展に寄与したいと考えています。

夏休み前から合同練習等の準備を進め、本番をむかえました。最後の120人超の合奏は迫力満点！圧巻でした。以下、部長の井上未遥さんのことばです。



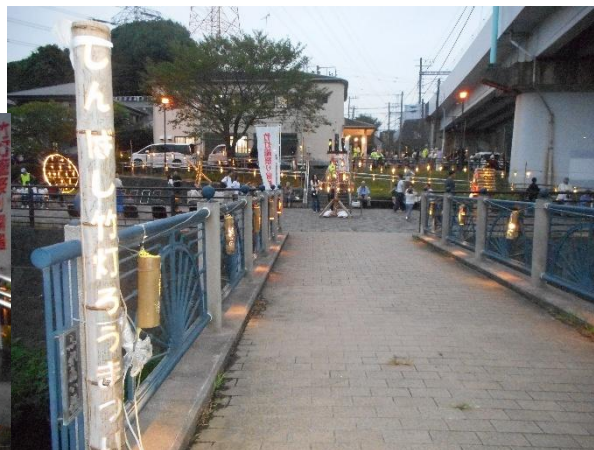
「先日、私たち吹奏楽部は、横浜隼人中学・高等学校のみなさんとコラボレーションを行いました。このコンサートに向けた合同練習を通して、高校生のみなさんから多くの刺激と学びをいただくことができました。そして当日は、120人を超える大人数で演奏するという貴重な経験をさせていただ

き、とても楽しい時間を過ごすことができました。いつも温かく教えてくださった横浜隼人高等学校のみなさんには心から感謝しています。今回の経験を生かして、これからもみなさんに楽しんでいただける演奏をお届けできるように、部員一同頑張っていきます！」

第4回新橋竹灯籠まつり



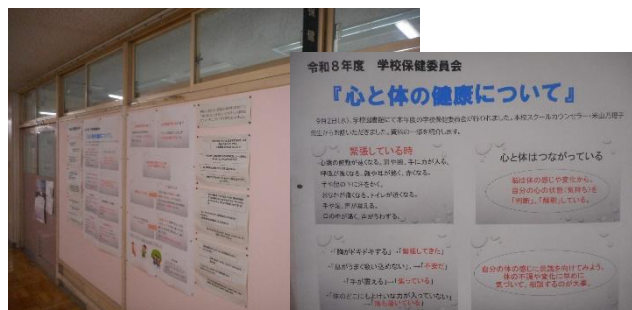
8月28日(金)～30日(日)、新橋竹灯籠まつりにて、学校だより4号(7月17日発行)で紹介した本校生徒の作品が飾られました。一つひとつライトアップされ、とてもきれいに輝いていました。また、おまつりでは模擬店の出店や催しも行っていて、本校の生徒も多数参加、楽しいひと時を過ごしていました。今回、残念ながらボランティアの協力はできませんでしたが、地域の行事に参加して、地域のみなさんと楽しむことができました。



学校保健委員会

「9月2日、学校保健委員会が行われました。今年は『心と体の健康について』、スクールカウンセラーの米山先生のお話を聞きました。緊張している時の体の状態の変化は、自律神経に関係しています。自律神経には、交感神経と副交感神経の2つがあり、その2つがシーソーのようになっています。自律神経が乱れるというのは、シーソーの片側が強くなり、バランスが崩れるということです。自律神経の乱れは、生活リズムの乱れ、ストレスの抱え

込みが原因になることが多いです。私は、交感神経と副交感神経の役割の話しが印象に残りました。みなさんもこれを機に、自分の生活リズムの見直し、自分に合ったストレス解消法を見つけられると良いですね。学校図書館に、『心と体の健康』に関する本がありますので、気になった方はぜひ読んでみてくださいね！」 保健委員会 委員長 堀江仁心さん



↑学習した内容を、参加した保健委員の声と合わせて保健室の廊下に掲示しています。

養護教諭の海老原先生がまとめてくれました。

←当日の様子

当日は、保健委員会のみなさんと、PTA事業・研修委員の方にもご参加いただきました。ありがとうございました。ぜひ、委員のみなさんから、学んだことをクラス・学年に伝え、生徒全員の学びにつなげてほしいと思います。

3 学年合同学級委員会

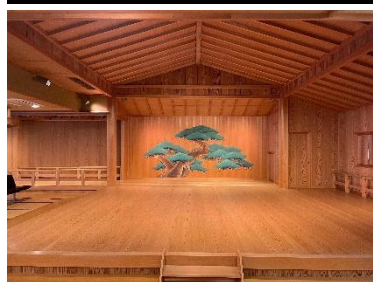
9月3日(木)、いつもは各学年で行われている学級委員会が、3学年合同で行われていたので、3年生の学級委員会委員長の高橋美咲さんに様子を教えてもらいました。



「今回の3学年合同学級委員会では、学校生活の中で感じている困りごとについて話し合いました。その中から、昼休みのバスケットボールコート(中庭)の使用日について、『今日は何年生が使う日か分からなくなってしまうことがある』という意見を取り上げ、みんなで話し合いました。私は委員長として話し合いをまとめることにプレッシャー

を感じていましたが、担当の先生のお力添えもあり、会議を円滑に進めることができ、有意義な話し合いにすることができました。今回、学年を越えて意見を出し合うことで、自分たちだけでは気がつかなかった違う視点からの意見を聞くことができ、よりよい解決方法を考えることができました。今回の話し合いを通して、全校生徒のみんなが過ごしやすく個性豊かな学校にするためには、一人ひとりの意見を大切に、協力していくことが大切だと感じました。これからも3学年みんなで協力し、さらに楽しい学校生活にできるように活動していきたいです。」

「能」がいずみ野中にやって来る！ 10月5日(月) ワークショップ | 11月5日(木) 本公演



小学校・中学校等に文化芸術団体等を派遣し、子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を授業内で実施する文化庁の事業、舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）で、「能」の公演等に公益財団法人梅若会の方々に来校していただけることになりました！

「室町時代(14世紀)に成立した能は、六百年を越える歴史の中で独自の様式を磨き上げてきた日本の代表的な古典芸能であり、同時に、現代に生きる世界の演劇の一つでもある。その特徴を一言で言えば、面と美しい装束を用い、専用の能舞台で上演される歌舞劇、とまとめることができるだろう。」

公益社団法人 能楽協会ホームページより



(写真提供：能楽師 シテ方 宝生流 亀井雄二氏)

社会科歴史分野の教科書に、室町時代の学習で「能は足利義満の保護を受けた観阿弥と世阿弥によって完成し、その後も歴代将軍に愛されて洗練されていきました。」とあります。音楽科では、3年生で演者・演奏者の役割、能舞台、演目について学習します。

中学生が日頃、古典芸能に触れる機会は少ないと思いますので、せっかくの機会です。楽しみながら能に親しんでもらえると嬉しいです。なお、会場の都合で保護者・地域の方、みなさんをお迎えすることができません。PTA実行委員会と学校運営協議会の委員の方のみ、ご案内しておりますのでご了承ください。



↑小鼓（こつづみ）という楽器
校長室にあります。いつでも打ち
に来てください！

能楽師 小鼓方 幸流 亀井俊一氏
より寄贈



クイズ！

左の4名の中で、大鼓（おおつづみ）
という楽器を演奏している、能楽師
大鼓方 葛野流 亀井洋佑氏は？

- ①一番左の方
- ②左から二番目の方
- ③左から三番目の方
- ④一番右の方

クイズの答えは写真が掲載されている教科書にあります。1年生は先輩に聞いてね！（中学生の音楽2・3下 P44 より）